

広げよう 日中友好の輪を！ 記念館を支援する会 発行

(編集責任：近藤) 連絡先 石郷岡日出子 (042-663-4136)

《日中友好協会都連大会・中国書画展示》

(7/18 サンパール荒川) 友情の書画～石郷岡日出子～



毎日の猛暑には閉口していますが、皆様お変わりありませんか。テレビの画面に映し出される元気な若者の姿に思わず見とれてしまいますが、同時に目に入ってくる暗いニュースに、オリンピックを見て面白がり感心してばかりはいられないと複雑な思いをしている今日この頃です。

7月に行われた日中友好協会都連大会の会場で、おなじみの青島からの書画を展示しました。いつもの趣向を変えて、まとまった作品【書体別】を並べてみましたら、とても分かりやすく、皆様によく鑑賞していただきました。つい最近、青島の丁春源氏から11幅の新作が送られてきましたので、ぜひ皆様に観ていただきたいと思います。

上：挨拶する石郷岡代表

とても素敵な楽しい作品です。

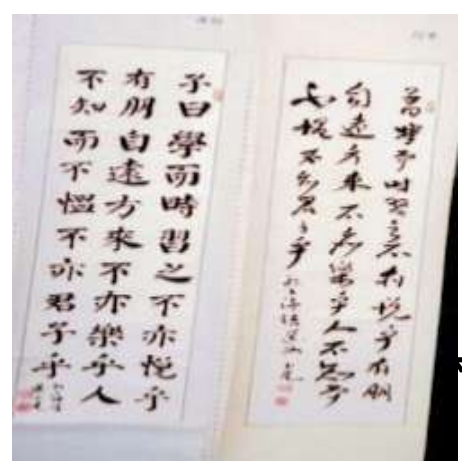
青島の書道家からの作品は、書画の鑑賞というだけではなく、日中友好交流という大きな目的をもって送られてきた温かい友情のこもった作品です。皆様のご協力をいただいて、日本からも作品を送ることができたらどんなにか喜ばれることでしょうか。そして、新作も含めて70幅ほど保管してありますので、大いに楽しくご鑑賞ください。



青島毛子埠抗戦記念館との交流も、もう10年になります。現在、日中関係は良いとは決して言えませんが、心から真の交流を願っている私たちは、できることをみんなで実行していくしかないと思っています。海を隔てた直接の交流はなかなかできませんが、これからも良き友達との友情をしっかりと結びあっていきましょう。



右：塩谷様から提供して頂いた書画





左：石郷岡さんと芝沼さん

《日中友好協会都連大会で書画を展示》

7月18日開催の上記大会会場ロビーで、支援する会へ送られた中国書画十数点を展示しました。

今回は、李玉星さん作の、孔子「論語」から「子曰学而時習之不亦悦乎…」を、書体別に書かれたものを中心に展示しました。時代や目的や作風によって、それぞれの書体に特徴があり、

比べてみて中国の漢字文化の豊かさ、奥深さを改めて感じました。

今回はスペースの関係で6点しか展示できませんでしたが、中国では“十大字体”（甲骨文・金文・秦篆・魏碑・漢隸・唐楷・行書・草書・行草・章草）と呼ばれるように、李さんからは10点の作品が送られています。今後これらを一堂に展示し、書画の交流をさらに深めていければと思います。(S. M) ~~~~~

～丁春源が招かれて講演 記念館建設の10年を語る～



丁さんは、地域の模範先進講師団の一人に選ばれました。【丁さんからのメッセージ】

《私は今年、とても忙しいです。記念館の

こと他に、各地区を講演して回っています。

もう、10か所以上回りました。忙しいのも、また楽しからずや。でも、身体と気持ちはよい状態です。

今年の夏は特に暑く、皆様、ご自愛ください。元気にお過ごしください。》



左：講師団の記念写真 右：講演する丁さん

~~~~~新しく送られてきた書画~~~~~

李玉星

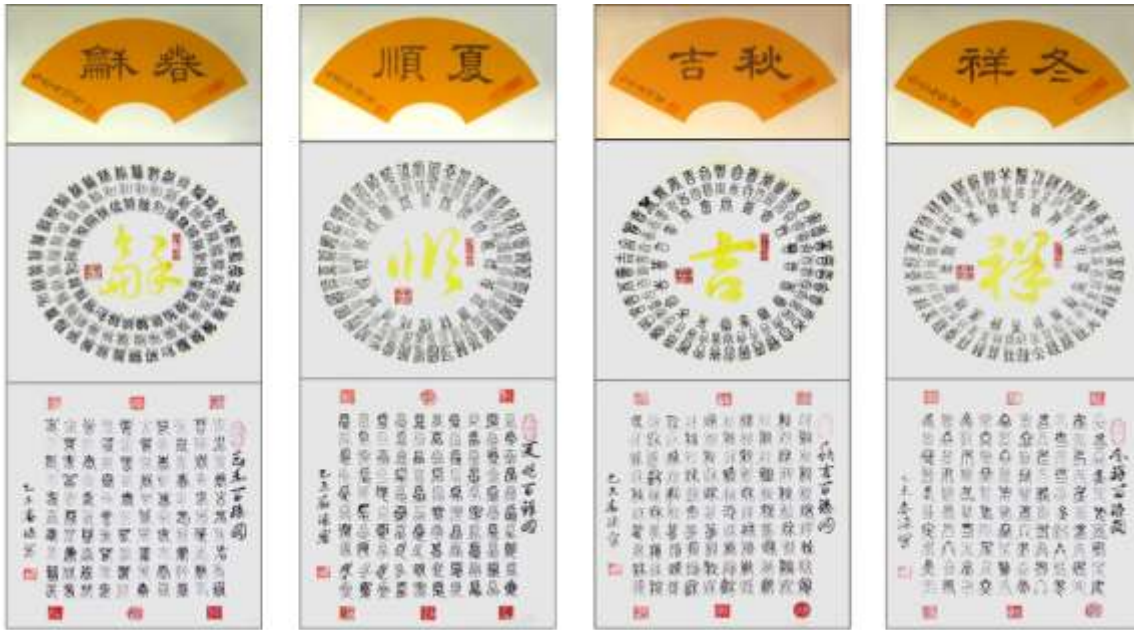
王柴

王瑞琴

嵇境雷







丁春源

四聯屏

(四聯屏風)

春和

夏順

秋吉

冬祥

《**日本政府**（安倍総理大臣・稲田防衛大臣・菅官房長官）の責任を追及》

まおずぶ

～《**毛子埠虐殺事件の事実・謝罪・記憶の要請署名**》にご協力ください～

内閣改造により、防衛大臣が中谷元氏から稲田朋美氏に交代しました。従って、署名用紙の要請先名義を一部変更し引き続き署名を上げていただくようお願いいたします。

防衛大臣に要請するのは、以下の理由によるものです。

旧日本軍のデータや動向については、防衛研究所・靖国偕行文庫・しょうけい館・昭和館などに記録が残されています。また、公開されているものの他に個人のデータなどは合祀されている靖国神社に保管されています。**戦史叢書（防衛研修所戦史室編纂）**など一般的な資料は防衛省及び関連機関が保管しています。**特に事実の解明には防衛省への追及が必要です。**

戦争責任の追及では、花岡事件・西松建設・三菱マテリアルなどが被害者と和解したケースや日韓“慰安婦”合意のような政府間の取り組みがみられます。これらを見るにつけ、戦争被害当事者（幸存者<幸いにも生存した者>・遺族・住民など）と日本国政府が真摯に向き合い《**事実究明・真摯な謝罪・記憶の継承**》を実行することが前提として不可欠だと思います。首相や担当大臣個人の談話などでなく、日本国政府【内閣】が責任ある対応をすることです。それは「**そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使**」（日本国憲法・前文）とする点に由来します。

まおずぶ

毛子埠虐殺事件は、それが起こされた日時・場所・被害状況も明確になっている事件です。幸存者<幸いにも生存した者>などの証言によって、日本軍の残虐行為も明らかです。現地には、

まおずぶ

厚志家と村民により《毛子埠抗戦記念館》が作られ、山東省档案局も公認しています。

来年**2017年**は日華事変（七七事件）**80周年**、**2018年**は毛子埠虐殺事件**80周年**です。関係者の生存も時間の問題となっています。これまで署名にご協力いただいた方々にお礼申し上げますと共に追加署名をよろしくお願ひします。（事務局：近藤）



**青島・記念館前**

抗日戦争勝利71周年、  
 まおずぶ  
 毛子埠抗戦記念館建設21  
 周年 軍民共同して書画作  
 品展 書画家記念撮影

日本国政府に、<sup>まおずぶ</sup>《毛子埠事件（1938年5月）の事実・謝罪・記憶を  
 要請する署名》を始めています。（8/26現在集計・356筆）

（署名に一層のご協力を！！）

署名用紙は、ここからプリントアウトして使用してください。

**新作・中国書画（約60幅）を展示しませんか**

左：百の猴図・申猴

右：書画制作

中国書画を貸し出します。各種の会合・催物の会場に飾って鑑賞してください

**毛子埠記念館に行ってみませんか**

連絡先（石郷岡 042-663-4136）

行き方〔青島市<四方>平度行きバスー>（1時間半）  
 ー>記念館前〕

**熱烈歓迎してくれます**

気楽に訪問してみてください。



楽しい旅行の思い出に。

〒266041 青島市李沧区

永平路73号4单元 502戸

TEL 15253230362 館長：丁春源

メール：374468830@qq.com

